



入賞作品

## コーヒーサイフォンとコーヒーミル

我が家では、昭和五十年頃からコーヒー豆をミルで挽き、サイフォンで淹れたおいしいコーヒーをいただいています。

サイフォンコーヒー全盛の時代、私は結婚をし、なけなしの給料をはたいてガラス製のコーヒーサイフォン一式とコーヒーミル一台を買い揃えました。「長く使えるいいものを」という友人のアドバイスで、ビギナーには分不相応な高いものを購入しました。

以来四十年近く、引越やマイホーム建設、増改築と何度か生活の場が変わりましたが、その間サイフォンとミルは常に私と共にありました。四十年の間に、サイフォンのフロート部分はひび割れ、ミルの側面は傷み、いろいろな部分が破損しましたが、自分で修理をしながら使い続けています。先日、息子たちや孫たちをはじめ、たくさんの友人知人が我が家のサイフォンコーヒーを楽しんでくれました。

時代は既にインスタントからラテコーヒーへ移行していますが、我が家ではこれまでと変わらずに、思い出のいっばい詰まったサイフォンとミルに感謝の気持ちを抱きながら、大切に大事に長く使い続けたいと願っています。

宮崎県 鈴木莞爾さん